

学校教育目標	「たくましく ころゆたかに 生きていく子」
	<ul style="list-style-type: none"> ○ いろいろなことにとりくみ、できることをひろげよう。 (知) ○ じぶんをたいせつにし、ひとにやさしくしよう。 (徳) ○ じょうぶなからだをつくろう。 (体) ○ ともだちをつくり、たすけあおう。 (公) ○ あたらしいことにチャレンジしよう。 (開)

学校概要	創立 55 周年	学校長 中川 修一	副校長 大久保彰浩 早坂拓	2 学期制	
	幼児・児童・生徒数: 274 人	幼稚部: 人	小学部: 120 人	中学部: 74 人	高等部本科: 80 人 専攻科: 人

教育課程全体で 育成を目指す資質・能力
<ul style="list-style-type: none"> ・身辺自立、社会(集団)適応能力 ・自己有用感、自己肯定感 ・自己選択、自己決定する力 ・コミュニケーション能力

育成を目指す資質・能力を踏まえた 「(12)年間で育てる子ども像」と具体的取組
<p>○「できるようになりたい」という気持ちを持ち、主体的に学習に取り組む子ども</p> <p>○他者や社会との関わりの中で、働くことや社会の中でよりよく生きる喜びを感じる子ども</p> <p>○余暇活動を通して、家族や友だちと楽しく過ごす子ども</p> <p>・学び続ける教職員集団を目指し、教職員一人ひとりが主体的に校内や校外での研修に取り組み、専門的知識を向上させる。</p> <p>・児童生徒の実態把握や支援方法等に関する議論を組織的に行い、チーム力を高めることで、子どもたちのキャリア発達を適切に支援していく。</p> <p>・子どもたちが自己有用感に裏付けられた自己肯定感の高まりを感じられるように努めるとともに、授業や地域協働を通じて、学校が地域と関わりをより持てるように働きかける。</p>

中期取組目標	(1) 生きる力を育てる学校 ・「自分らしく生きる力」や「丈夫でたくましい心と体」を育みます。・一人ひとりを大切にして、個々に対応した指導の充実を図ります。
	(2) 主体的な活動や学びを引き出す学校 ・自分の思いを伝える力と友だちと一緒に学校生活を楽しむ気持ちを育てます。 ・楽しくてわかりやすい、丁寧な指導を行い、見通しを持って安心して活動できる学習環境を整えます。
	(3) みんなが集まる学校 ・豊かな社会性や人間性を育むため、交流学习や地域の人々との活動を積極的に行います。 ・学校の様子や子供の支援のあり方について発信や連携を高めます。

重点取組分野	具体的取組
知 学習活動	昨年度より学校全体で取り組んだ日常の授業・指導を「対話的な学び」と捉え直そうとする試みを、今年度も継続しつつ発展させる。そのことにより、本校の児童生徒に対する支援をより充実させていく。
担当 研究・研修部、教育課程検討委員会	
徳 豊かな心	①教職員の人権意識を高め、児童生徒自身が大切にされていると感じられる環境をつくる。 ②集団生活を通して、ともに活動する楽しさや喜びを感じられるように支援するとともに、自分や相手のよさに気づき、自分や相手を大切に作る気持ちを育む。
担当 人権教育推進委員会	
体 健やかな体	食事や運動を通し、個々の実態に応じた生活習慣病の予防となる健康管理に取り組む。
担当 保健支援部	
公開 地域社会協働	①校内の教育活動について、保護者、地域、関係機関へ計画的に発信する。 ②校内、学校間、地域での行事や交流などの機会を捉えて、教育活動の積極的な改善に繋げていく。
担当 学校経営推進会	
いじめへの対応	いじめについて積極的認知に努め、類似案件や教職員の気になる言動についても校内で共有し未然防止を図る。
担当 いじめ防止対策委員会	
人材育成・組織運営(働き方)	① 研究授業後の協議会の設定や参加メンバーについて定め、学校全体で取り組む。また、参観していなくても協議会に参加できるよう研究授業をiPadで録画し、幅広く教員が参加できる手立てを講じる。協議会の記録を発信し、授業のアイデアが全体に共有できるようにして授業力向上を図る。 ②教職員のキャリアステージに応じた人材育成を充実させる。中堅研修受講者または研究研修部が年間の研修計画に沿ってメンターチーム研修を運営し、効果的な組織運営を図る。 ③児童生徒への指導や授業作りについて教職員同士が対話を重ね、業務の改善や相談しやすい職場環境を作る。
担当 研究・研修部、教務部	
センター的機能の取組	①コンテンツ発信プラットフォームや学校ホームページを活用して、広く本校の取り組みを発信することにより、障害理解啓発に努める。 ②特別支援教育コーディネーターからのお知らせ、行事や日々の授業の紹介、教員研修への取組等についてを公開することで、各関係機関への情報提供機能を担う。
担当 情報管理部	
防災	①大規模な災害時に児童生徒の学校留め置き、また本校が避難所になった場合を想定し、防災備蓄品の確保・点検や教職員の役割や動きの理解を深める。 ②様々な災害を想定した訓練(避難訓練、引き取り訓練)を行う中で、どのような事態が生じるかを想像し、その際に適切な対応が取れるよう改善を行っていく。
担当 防災安全支援部	
地域協働キャリア発達支援	教員向けの研修会や施設見学を行い、進路等に関する情報を全職員に発信する。
担当 進路・教育相談部	
保健管理・保健教育	①心と体の学習に関する指導案や教材、資料等を保存し、児童・生徒の実態・支援を共有する。 ②心と体の学習の授業担当者を決め、年間指導計画に位置付けることで各学年が組織的に授業実践に取り組む。
担当 教育課程検討委員会	